7　芸術（美術）

学校番号	３０６

平成３１年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校美術２」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎技術を身につけた上で自分自身の思いや感じ取ったことから表現する発展的な「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などに着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。また、「鑑賞」で感じ取ったことや考えたことを共有し、見方や表現をさらに広げ、深めていきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション・立方体	【鑑賞】【絵画】 ・オリエンテーション アンケートを通じて学習の進度を確認 1年間の学習イメージを持つ ・1年間の授業の概説 ・用具の点検 ・立方体を描こう	○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:立方体の形の特徴を理解して表現する。 c:鉛筆の特性を理解し、まっすぐな線を引き、明暗を表現している。 d:自分の表現を客観的に評価する力をつける。	学習活動の様子 制作の様子 作品 学習の記録
	透視図法想定デッサン	【デザイン】【絵画】 ・透視図法の練習 ・空間をイメージし構成を考える ・立方体をイメージし立体的に表現する	○	○	○	○	a:遠近法を理解して（二点透視を学ぶ）構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:構成を工夫し、明暗の働きを考えて表現の構想を練っている。 c:画面構成を行いひとつの世界を表現するため、光を意識して明暗の差を表すことができる。 d:対象を客観的に見る観察力を養う。	練習プリント1．2 アイデアスケッチ 制作の様子 作品 学習の記録
	文字のデザイン①永字 ②ロゴタイプ	【デザイン】 ①永字練習 ・明朝体・ゴシック体の特徴を学びアクリルガッシュで着色する ②自分を表すロゴタイプ ・自分のイメージを考える ・アイデアスケッチ ・イメージに合った文字のデザイン構成　配色を決める ・制作 ・鑑賞	○ ○	○	○ ○	○	a:文字の特徴を理解し主体的に取り組もうとしている。 c:アクリルガッシュ絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 a:自分を表す文字のデザインを積極的に考えようとしている。 b: イメージを色や形で伝えられることを意識して文字のデザイン、構成配色を考えながら表現の構想を練っていく。 c:アクリルガッシュ絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、イメージに合った表現をしている。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作品について理解を深めている。	永字作品 アイデアスケッチ 制作の様子 作品 学習の記録 振り返りプリント

	パッケージデザイン	【デザイン】【立体】 お菓子のパッケージをデザインする ・世の中にはない新製品を作るためアイデアを考える ・ロゴタイプとお菓子の味の絵は独自のデザイン ・展開図に下書き着色 ・組み立て ・互いの作品を鑑賞する	○	○	○	○	a:オリジナル商品を開発するつもりでデザインを積極的に考えようとしている。 b: 新しい味、アピールした移転を意識して構成・配色を考えながら立体になることを意識して構想を練っていく。 c:アクリルガッシュ絵の具だけではなくペンなども使って商品に記載されている項目を意識し、オリジナルのパッケージを制作している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作品について理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 学習の記録 振り返りプリント 作品
2学期	油絵①技法練習	【絵画】 油絵の具ナイフによる表現の練習	○		○	○	a:ペインティングナイフを使う表現意積極的に取り組もうとしている。 ｃ:油絵の具の特質やナイフの特性を理解して使うことができる。 ｄ：うまくできたか自分で判断する。	制作の様子 作品 学習の記録
	油絵②　模写	【鑑賞】【絵画】 ・作者とその作品の特徴を学ぶ ・摸写したい作品を６つの中から選びその一部を切り取り拡大スケッチする ・技法や配色筆致などをできる限り学んで制作する ・鑑賞	○	○	○	○	a:作家の作品の特徴を研究し、その技法や表現に関心を持ち、摸写制作に積極的に取り組もうとしている。 b:効果的な構図としてどの一部を切り取るのか考えている。 c:油絵の具の特性を生かし、表現方法を学びながら工夫して表現している。 d:完成作品を見て作者の作品について理解を深めている。	鑑賞ワークシート 制作の様子 作品 学習の記録 振り返りプリント
	油絵③油絵制作	【絵画】 テーマ「不思議な世界」 ・モチーフをデッサン ・ケッチ下モチーフを入れて自分独自の不思議な世界のアイデアを練る。 ・油絵の具の特徴を生かし効果的な構成　背景のマチエールや塗り方を考える ・制作 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:テーマを基独自の世界を表現することに関心をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:油絵の具の特性を踏まえ、不思議さを表現するための、構図、配色、技法を考えている。 c:油絵の具の特性を理解し、効果的な表現方法や配色を工夫して表現している。 d:作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。	デッサン制作 アイデアスケッチ 制作の様子 作品 学習の記録 振り返りプリント

	合評会	【鑑賞】他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する				○	d：よさや美しさ、作者の意図や表現の工夫など感じ取ったことを他者と意見交流し、作品について理解を深めている。	鑑賞ワークシート 鑑賞活動の様子 や発言内容
	年賀状	【絵画】 ・干支の学習 ・年賀状作り	○	○	○		a:人に送るものとして思いをこめた年賀状を書こうとする。 b:干支について理解し構想を練る c:はがきの書き方を学び表現する	アイデアスケッチ 制作の様子 作品 学習の記録
3学期	彫り進み版画	【絵画】【鑑賞】 ・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める	○	○	○		a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 木材の特徴やヤスリ・彫刻刀の種類、用途を知り使いこなす。形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 作品 学習の記録 振り返りプリント
	一年間の振り返り	【鑑賞】 ・作品返却 ・1年間の作品を鑑賞し振り返る ・木版作品をマットに固定し説明文・キャプションを作る。 ・廊下展示を行う。 ・相互鑑賞	○			○	a:1年間の作品を客観的に鑑賞して不十分点、よさや美しさ、そのときの工夫や頑張りを思い起こし、これからの成長に結びつけようとしている。 d:友達の作品のアイデアや構図、摺りの美しさなど、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	返却作品 ワークシート 活動の様子 学習の記録 鑑賞プリント

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。